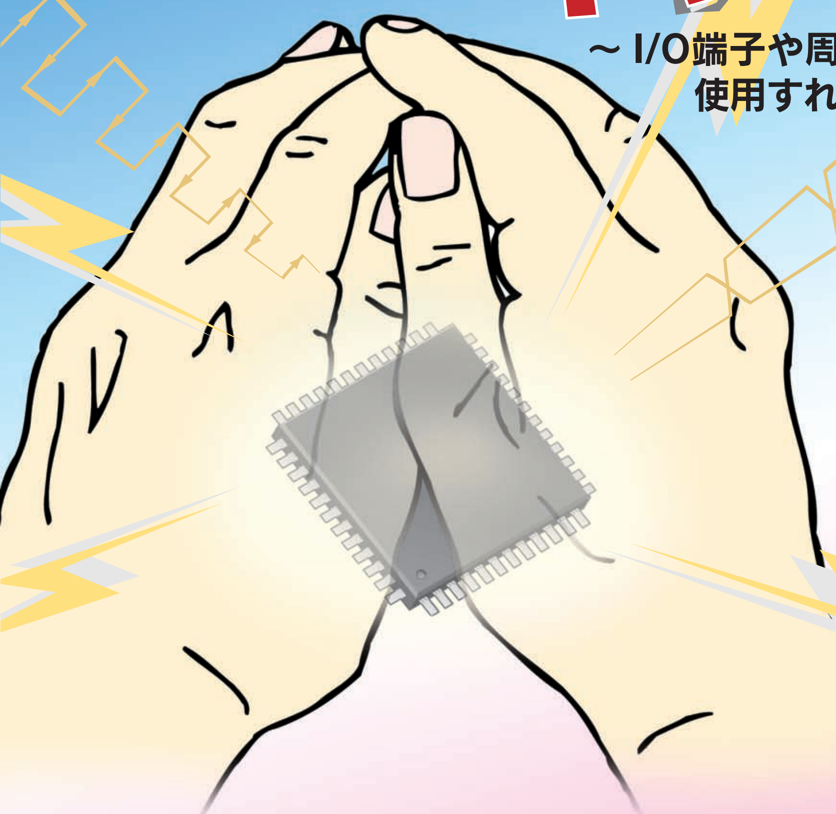
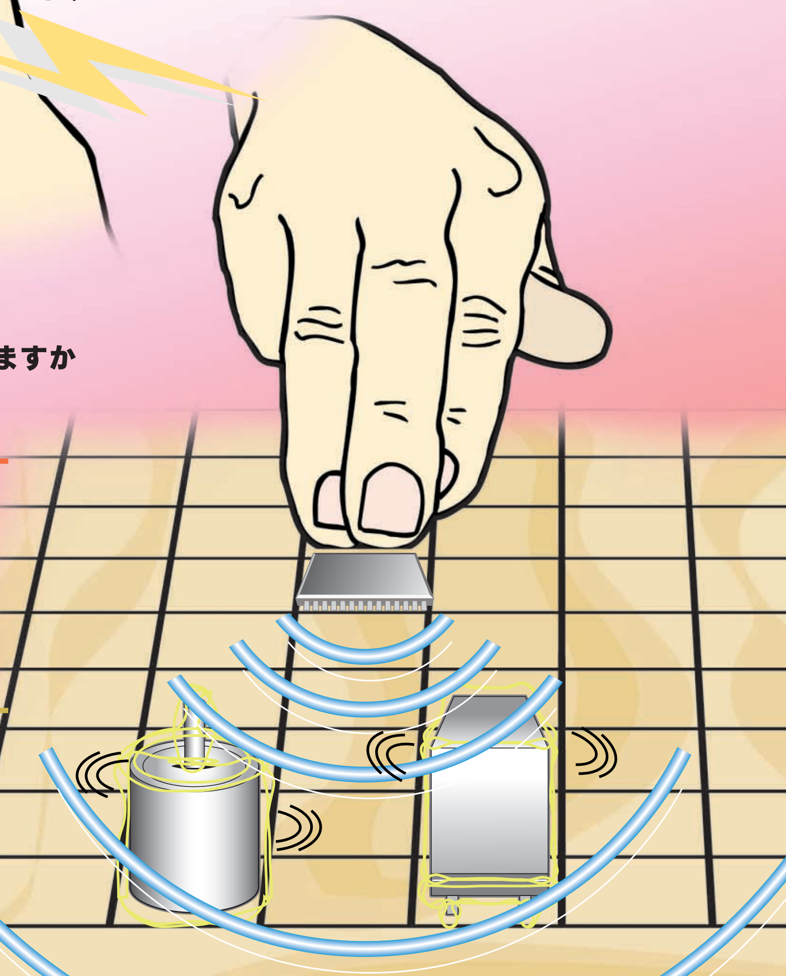
高機能デバイスの端子周りで生じるトラブル対処法

特集2

～ I/O端子や周辺デバイスの特性を理解して使用すれば，ムダな電力やノイズを減らせる ～



FPGA設計者やマイコン・ユーザは，それぞれのデバイスの論理機能やソフトウェア・プログラムについてはよく理解しているのですが，I/O端子周りの構造や動作については感心が薄いことが多々あるようです．そのため，いざI/O端子周りで不ぐあいが生じると，対策に困るケースがあります．例えば，最近，とくに「静電気に弱くなった」，「波形がなまってしまい，ほかの基板まで信号を伝送できない」，「放射ノイズが増えた」などの問題が増えています．本特集では，これらの問題への対処法を具体的な回路構成とともに示します．



デバイスの記事　ボードの記事